	工業高等	専門学校	開講年度	平成30年度 (2	2018年度)	授	業科目	英語ⅢA	(0252)	
			,		/					
科目番号		0313			科目区分		一般 / 必何	 多		
授業形態		講義			単位の種別と単位	边数	履修単位:			
開設学科			□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				3			
開設期		前期					2			
教科書/教	**************************************			文英堂. 石黒昭博監	·間数       2 :石黒昭博監修 『Forest』、桐原書店、2007. 『NextStage』,					
	K1/2J			11. 『速読英単語』Z会 2 0 1 2.						
担当教員	<del></del>	菊池 秋夫	ζ							
到達目標		7.0 k4t = X	シャナルコート・ション・ギ		70ND74 1	Ħ7林65+	·\	·+ ===+\	12++01-B	
央語 4 技問 は、高校	能のハフノ/ 1 − 2 年生7	へのとれた発 でマスターし	達を促すといつ教化 ておきたい基本語。	科全体の目標の中で 4 0 0 – 5 3 0語を	、この科目では、』 身につける	<b>圣</b> 啶的/	よ又法・語	法・岩果な	こをさりに子	る。治果力
ルーブリ	Jw/フ									
1V 2372			理想的な到達レ	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安				
評価項目1			基礎的な文法な	基礎的な文法・語法などを60%以			基礎的な文法・語法などを50%以上理解できる			
			できる	上理解できる						
評価項目2			ターしておきた	1 – 2年生でマス い基本語 語を80%以上身に	語彙力は、高校1-2年生でマスターしておきたい基本語400-530語を60%以上身につける			語彙力は、高校1 - 2年生でマスターしておきたい基本語400-530語を50%以上身につける		
評価項目3			英検準2級リーラ	英検準2級リーディングの文章を 60%以上理解し要約できる		英検準2級リーディングの文章を 50%以上理解し要約できる				
 学科のst	]達日煙Ti	 頁目との関				.,,,		1.2.000		
				 ュニケーション能力	 の習得					
地域志向	0									
教育方法	去等									
概要		【開講学	期】春学期週2時間 文法・語法・語彙が	、夏学期週4時間 などをさらに学ぶ						
授業の進む	め方・方法	英文の読け、読解	解、文法事項の解認のない。	は、語句の活用練習 多読学習でショー 果題を中心に指導を	トストーリーを数多	的背景 <i>の</i> 多く読む	D説明を行う。 会週小	う。文法や テストを実	語彙力を実践 施する。また	めに身につ 、インプッ
<sup>注意点</sup>  授業計画	<b>斯</b>	での学習	なしではありえない 習も求められる。	した小テストを行う ハ。ラジオやテレビ	の英語学習番組を被	現聴した	り、字幕	付き洋画を	見たり、英字	新聞を読む
ᅺᆔᅜᄎ	쁴									
汉本印比	<u> </u>	週	授業内容			週ごと	の到達目標			
<u> </u>		週 1週	授業内容 Introduction							
12 <u>**</u> 01 <u>L</u>	<u> </u>			名詞				方を理解す	Г <b>а</b>	
以本印片	=	1週 2週 3週	Introduction			再帰代			†3	
		1週 2週 3週 4週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ	方法		再帰代: the wa	名詞の使い y S+V	方を理解す	าส	
<u>,汉本印片</u>	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞	方法		再帰代: the wa 動名詞(	名詞の使い y S+V の主語を理	方を理解す	73	
<u>,又不可比</u>		1週 2週 3週 4週 5週 6週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略	方法 の主語		再帰代 the wa 動名詞の 省略の	名詞の使い y S+V の主語を理 構造を理解	方を理解す 解できる できる		
<u>,</u>		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の	方法 の主語		再帰代 the wa 動名詞の 省略の	名詞の使い y S+V の主語を理 構造を理解	方を理解す 解できる できる	で理解できる	
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の 到達度試験	方法 の主語 do		再帰代 the wa 動名詞の 省略の doが強	名詞の使い y S+V の主語を理 構造を理解 調の意味を	方を理解す 解できる できる えますことを		
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完	方法 の主語 do 了		再帰代 the wa 動名詞 省略の doが強 未来完	名詞の使い y S+V の主語を理解 講造を理解 調の意味を 了を理解で	方を理解す 解できる できる そ表すことを	を理解できる	
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完 Chapter 8 受け身	方法 の主語 do 了 の不定詞		再帰代 the wa 動名詞の 省略の doが強 未来完 受け身の	名詞の使い y S+V の主語を理 構造を理解 調の意味を 了を理解で の不定詞を	方を理解す 解できる できる 表すことを きる 理解できる	を理解できる	
	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose		再帰代 the wa 動名詞の 省略の doが強 未来完 受け身の 関係代	名詞の使い y S+V の主語を理解 講の意味を 了を理解で の不定詞を 名詞whose	方を理解す 解できる できる そ表すことを	を理解できる 3 きる	
		1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完 Chapter 8 関係代	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法		再帰代: the wa 動名詞: 省略のi doが強 未来完 関係代: ifを用い	名詞の使い y S+V の主語を理解 講の意味を 了を理解で の不定詞を 名詞whose	方を理解す 解できる できる 表すことを きる 理解できる を理解できる	を理解できる 3 きる きる	
	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完 Chapter 8 関係代 Chapter 8 関係代 Chapter 9 ifを用し	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文		再帰代 the wa 動名詞 省略が強 未来完 関係代 ifを用い	名詞の使い y S+V の主語を理解 講造を理解 了を理解で の不定詞を 名詞whose いない仮定 分詞構文を	方を理解す 解できる できる 表すことを きる 理解できる を理解でき 去を理解で	を理解できる る きる きる	
前期	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完 Chapter 8 関係代 Chapter 9 ifを用し Chapter 9 否定の	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文		再帰代 the wa 動名詞 省略が強 未来完 関係代 ifを用い	名詞の使い y S+V の主語を理解 講造を理解 了を理解で の不定詞を 名詞whose いない仮定 分詞構文を	方を理解す 解できる できる 表すことを 理解できる 全を理解できる 全を理解できる 理解できる	を理解できる る きる きる	
	1stQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 7 動名詞 Chapter 7 省略 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完 Chapter 8 受け身 Chapter 8 関係代 Chapter 9 所を用し Chapter 9 否定の Chapter 9 動名詞	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文		再帰代 the wa 動名詞 省略が強 未来完 関係代 ifを用い	名詞の使い y S+V の主語を理解 講造を理解 了を理解で の不定詞を 名詞whose いない仮定 分詞構文を	方を理解す 解できる できる 表すことを 理解できる 全を理解できる 全を理解できる 理解できる	を理解できる る きる きる	
前期	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 7 動名詞 Chapter 7 強器 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完 Chapter 8 関係代 Chapter 8 関係代 Chapter 9 ずを用し Chapter 9 ずを用し Chapter 9 動名詞 復習	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文 の受け身		再帰代 the wa 動名詞 省略が強 未来完 関係代 ifを用い	名詞の使い y S+V の主語を理解 講造を理解 了を理解で の不定詞を 名詞whose いない仮定 分詞構文を	方を理解す 解できる できる 表すことを 理解できる 全を理解できる 全を理解できる 理解できる	を理解できる る きる きる	
前期	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 7 動名詞 Chapter 7 強器 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完 Chapter 8 関係代 Chapter 8 関係代 Chapter 9 ずを用し Chapter 9 動名詞 復習	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文 の受け身		再帰代 the wa 動名詞 省略が強 未来完 関係代 ifを用い	名詞の使い y S+V の主語を理解 講造を理解 了を理解で の不定詞を 名詞whose いない仮定 分詞構文を	方を理解す 解できる できる 表すことを 理解できる 全を理解できる 全を理解できる 理解できる	を理解できる る きる きる	授業週
前期	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 強器 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 表来完 Chapter 8 関係代 Chapter 8 関係代 Chapter 9 可を用い Chapter 9 動名詞 復習 到達度試験 学習内容と到道 学習内容 英語運用の 基礎となる	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文 の受け身	票の定着を図り、高等の対象に必要となる。	再帰代だけれる 動名詞の はなが強 未受関係代だ がを用い が変 が変 を変しまする を変しまする を変しまする。	名詞の使い y S+V の主語を理解 講造を理解 了を理解で の不定詞を 名詞whose いない仮定 分詞構文を の受け身を	所を理解する。 できる。 できることを 理解できる。 全を理解できる。 理解できる。 理解できる。	を理解できる 3 きる きる 3	授業週
前期	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 7 動名詞 Chapter 7 強器 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 未来完 Chapter 8 関係代 Chapter 8 関係代 Chapter 9 所を用し Chapter 9 面定の Chapter 9 動名詞 復習 到達度試験 学習内容と到道 学習内容	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文 の受け身  世世標 学習内容の到達目 中学で既習の語彙 新出語彙、及び専	票の定着を図り、高等である。	再帰代 the wa 動省doが来け係を定名 学英 等る 等等 等等 等が に対して、 のでは、 のでは、 では、 では、 では、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	名詞の使い y S+V の主語を理解 構造を理解で での不詞whose おない構文身を いない構け身を で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変けまする。 で変ける。 で変ける。 で変しる。 で変ける。 で変ける。 で変ける。 で変ける。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 で変しる。 でをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでをでを	方を理解する。 できる。 きすことを きなせれてきる。 をを理解できる。 を去せ理解できる。 せませれてきる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はよりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりできる。 はまりで	を理解できる 5 きる 5 3	授業週
前期	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 6 まとめ Chapter 7 動名詞 Chapter 7 強器 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 表来完 Chapter 8 関係代 Chapter 8 関係代 Chapter 9 可を用い Chapter 9 動名詞 復習 到達度試験 学習内容と到道 学習内容 英語運用の 基礎となる	方法 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文 の受け身  巨標 学習内容の到達目 中労で既習の及びできる。 中学で既習の文法	票の定着を図り、高等ででである。 で文構造に加え、高等ででです。	再帰代: 甘中 名略が強 名略が強 完身代ルの 学英 等で 等で 100話 かん 10	名詞の使い y S+V の主語を理解を 構造の意味をで 名ので 名ので 名ので 名ので 名ので 名ので 名ので の で の 名ので で の の で の の で の の で の で	方を理解する。	を理解できる きる きる 3 3 3	授業週
前期 モデルニ 分類	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 7 動名詞 Chapter 7 強略 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 表来完 Chapter 8 関係代 Chapter 8 関係代 Chapter 9 ずを用し Chapter 9 ずを用し Chapter 9 動名詞 復習 到達度試験 学習内容 英語運用の 基礎  英語運用の 基礎  英語運用能 力の基礎	の主語 の主語 do  了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文 の受け身  三世標 学習内で語彙用の習及できる。 中文と表表でする。 日常としる。 日常といる。	票 の 定着を図り、となる。 で 変に を で で で で で で で で で で で で で	再帰 wa 制省 do 未受関 if 否動	名詞の使い y S+V の主語を理味を 清遇のを不詞がを理解を の名がいる。 の名がいく の名がいく の名がいく の子語がいく の子語がいく の子語がいく の子語がいく の子語がいく の子語がいく の子でできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	方を理解する。 できることをきることを き理を放ってきる。 を表理理解できる。 じてででるる。 ではというがない。 はなっかなる。 ではというで表	を理解できる きる きる 3 3 3	授業週
前期 モデルニ 分類	1stQ 2ndQ	1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの	Introduction Chapter 6 再帰代 Chapter 6 ~する Chapter 7 動名詞 Chapter 7 強器 Chapter 7 強調の 到達度試験 Chapter 8 表来完 Chapter 8 関係代 Chapter 8 関係代 Chapter 9 請を用し Chapter 9 動名詞 復習 到達度試験 学習内容 英語運用の 基知識 英語運用の 基知識 英語運用能	の主語 の主語 do 了 の不定詞 名詞whose いない仮定法 分詞構文 の受け身  「世界のの到達目ででは、大学ででです。では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	票のででは、できる。 で文構造に加え、連邦を関係では、できる。 で文構造に関して、のできる。 でできる。 でできる。	再帰 は	名詞の使い y S+V の主語を理味を で不詞のと で不詞い「構力」 を不詞い「構力」 を理論を でを のといなうの でで でで できる。 でで できる。 でで でで できる。 でで でで できる。 でで できる。 でで できる。 でで できる。 でで できる。 でで できる。 でで できる。 できる。	方を理解する。 で表するとを き理を新理理解できる。 ではまするででする。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは	を理解できる 3 きる 3 3 3 3	授業週

				日常生活や身近な詞 100語程度のまとま	話題に関して、自分 きりのある文章を英	)の意見や感想を整 語で書くことがで	理し、 きる。	3	
				母国以外の言語やな面で積極的にコミニ	て化を理解しようと 1ニケーションを図	こする姿勢をもち、 図ることができる。	実際の場	3	
			: 汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。					
	汎用的技能	汎用的技能		他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。				2	
分野横断的				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。				2	
能力	// W 13 P 33 X RC			日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。				2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。				2	
評価割合									
	試験	角	 表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合語	†
総合評価割合	<b>à</b> 80	2	0	0	0	0	0	10	0
基礎的能力	80	2	0	0	0	0	0	10	0
専門的能力	0	0		0	0	0	0	0	
分野横断的能	li 力 0	0		0	0	0 0		0	